

令和5年3月

令和4年度



恵庭市民意識（まちづくりアンケート）調査

結果報告書

恵庭市

目次

第 1. 「市民意識調査の実施概要」	4
1 市民意識調査の目的	4
2 市民意識調査（アンケート調査）の内容	4
（1）アンケートの内容	4
（2）アンケートの方法	4
（3）アンケートの回収期間	4
（4）アンケートの回収結果	5
（5）アンケートの集計方法	5
（6）アンケート調査票	5
第 2. 「調査結果の分析」	23
1）回答者の属性について	23
（1）性別	23
（2）年齢	23
（3）恵庭市での居住年数	24
（4）居住地域	24
2）ごみ袋について	25
問 1 恵庭市有料指定ごみ袋の色	25
問 2 恵庭市有料指定ごみ袋の枚数変更	26
3）環境について	28
問 3 市や事業者が提供する環境に関する情報	28
問 4 市や事業者が提供する環境に対する情報で不足している点について	29
問 5 居住する住宅の種類	29
問 6 居住する住宅の ZEH 基準	30
問 7 COOL CHOICE の認知度	30
問 8 普段の省エネ行動	31
4）住まいについて	32
問 9 住み心地について	32
問 10 「恵庭市」の永住意向	32
問 11 「恵庭市」に住み続けたい理由	33
問 12 現在の住宅の建築年	34
問 13 現在の住宅の敷地面積	34
問 14 現在の住宅への満足	35
問 15 現在の住宅での住み続ける意向	35
問 16 住み替えを予定している市町村	36

問 17	住み替えを予定している住宅の種類	37
問 18	住宅の売却における困りごと	38
5)	恵庭市公式アプリ「えにわか」について	39
問 19	「えにわか」の認知度	39
問 20	「えにわか」で使っている・使いたい機能	39
問 21	「えにわか」に追加してほしい機能	40
問 22	「えにわか」への意見	40
6)	住宅防火について	41
問 23	同居の家族	41
問 24	居住する住宅への住警器の設置	42
問 25	恵庭市火災予防条例で定める場所への住警器の設置	42
問 26	住警器の設置年数	43
問 27	住警器の点検	43
問 28	住警器の交換	44
問 29	住警器を交換した理由	44
問 30	住警器を点検しない理由	45
問 31	住警器を設置しない理由	45
問 32	住警器の設置・交換の補助制度があれば利用するか	46
問 33	住警器の取付代行制度があれば利用するか	46
問 34	住警器の設置率を向上させる取り組み	47
問 35	住警器の効果的な情報提供方法	47
7)	その他	48
問 36	市政全般への意見	48

第 1. 「市民意識調査の実施概要」

1 市民意識調査の目的

本調査は、恵庭市が直面する様々な分野の行政課題に対する市民意識の把握を目的に、アンケートを実施するものである。アンケートの結果を整理し、今後の政策立案の参考とすることで、市民意見を反映した協働によるまちづくりに結びつける。

2 市民意識調査（アンケート調査）の内容

(1) アンケートの内容

市民意識調査は平成 21 年度から継続的に行っており、直近では令和 4 年 1 月に令和 3 年度調査を実施した。過去の調査では総合計画の成果指標に関わる事項を中心に聞き取りを行っていたが、時代の変化とともに市では様々な分野の行政課題に直面しており、庁内から個々の施策に関して市民意見を聞きたいとの要望があった事から、今回調査では新たに総合計画等の項目から一步踏み込んだ具体的な施策に関する内容を中心に設問項目を設定した。

アンケート調査票の構成

設 問 構 成
1) 回答者の属性について
2) ごみ袋について
3) 環境について
4) 住まいについて
5) 恵庭市公式アプリ「えにわか」について
6) 住宅防火について

(2) アンケートの方法

アンケートの方法は、恵庭市に在住する 16 歳以上 80 歳未満の市民から、対象者の居住地に偏りが無い様に配慮をした上で無作為に 2,000 人を抽出し、郵送により調査票を配布した。回答は、調査票（紙面）への記入・返送による方法と、web（パソコン・スマートフォン）での方法から選択できる仕様とした。

(3) アンケートの回収期間

アンケート書類は令和 5 年 1 月 26 日に発送し、回答の締め切りは同年 2 月 10 日とした。しかし、期日を過ぎても複数の回答があった為、できるだけ多くの意見を反映することを優先し、同年 2 月 24 日までの回収分を有効回答とした。

(4) アンケートの回収結果

アンケートの回収結果は発送件数 2,000 件のうち有効回収数が 842 票であった。回収率は 42.1%となっており、前々回の令和元年度調査の 39.3%と比べると上昇しているものの、前回の令和 3 年度調査の 47.7%と比べると、回収期間が短い為か低い回収率となった。そのうち web による回答は 203 票で、有効回収数に占める割合は 24.1%であり、前回の令和 3 年度調査の 253 票、26.5%に比べ 2.4 ポイント低下した。

アンケート調査の回収率

年度		有効回収数	回収率 (%)
今回調査	令和 4 年度	842 票 (調査票：639 票、web：203 票)	42.1 (調査票：75.9、web：24.1)
	令和 3 年度	954 票 (調査票：701 票、web：253 票)	47.7 (調査票：73.5、web：26.5)
(参考) 過去の 調査	令和元年度	786 票 (調査票：703 票、web：83 票)	39.3 (調査票：89.4、web：10.6)
	平成 30 年度	1049 票	52.5
	平成 26 年度	887 票	44.5
	平成 25 年度	936 票	47.0

(5) アンケートの集計方法

アンケートの集計方法については、有効・無効となる回答等に以下の基準を設定した。

- ・ アンケートの集計数値 (%) は、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳を足し上げても必ずしも合計とは一致しないこともある。
- ・ 無回答は除外して集計し、各設問に対する回答数 (母数 n) を記載する。
- ・ 単一回答では、2 つ以上選択、または選択がない場合は「無回答」として扱う。
- ・ 複数回答では、3 つまでの回答制限がある設問で 4 つ以上回答がある場合は「すべて回答」、選択がない場合は「無回答」として扱う。
- ・ 複数回答において、矛盾のある選択肢を同時に選択している回答は「無回答」として扱う。
- ・ 前問の回答により、回答の必要がない設問を回答している場合は「無回答」として扱う。

(6) アンケート調査票

調査票は A4 用紙 9 ページ (頭紙は除く) の資料として配布し、回答者の属性に関する設問を含めて全 36 問からなる内容とした。

恵庭市民意識調査（まちづくりアンケート）調査票

● 最初にあなた自身のことを教えてください。

(1) 差し支えなければ、あなたの性別を教えてください。

- 男 女

(2) あなたの年齢を教えてください。

- 10歳代 20歳代 30歳代 40歳代
 50歳代 60歳代 70歳代以上

(3) あなたが恵庭市に住んで通算何年になるかを教えてください。

- 5年未満 5年以上～10年未満
 10年以上～20年未満 20年以上～30年未満 30年以上

(4) あなたのお住まいの地域を教えてください。

- 恵庭小学校区（白樺町、末広町、栄恵町、泉町、桜町、京町、漁町、福住町、
緑町、相生町、住吉町、新町、本町、黄金北、黄金中央、上山口）
 和光小学校区（戸磯、恵南、和光町、駒場町、黄金南、相生町、住吉町、上山口）
 柏小学校区（大町、文京町、牧場、美咲野、幸町、柏木町、北柏木町3丁目、盤尻、島松沢）
 若草小学校区（有明町、中島町、恵央町、柏陽町、北柏木町1・2・4・5丁目、西島松）
 恵み野小・恵み野旭小学校区（恵み野西、恵み野南、恵み野東、恵み野北、恵み野里美、
南島松、西島松）
 島松小学校区（島松寿町、島松仲町、島松東町、島松本町、島松旭町、西島松、南島松、
中島松、下島松、穂栄、北島、林田）
 松恵小学校区（漁太、林田、春日、中央、上山口、中島松）

⇒次のページへお進みください

環境について

恵庭市では、将来に向けて恵庭市の環境に関する施策を統合的、計画的に推進し、よりよい環境を次世代に引き継いでいくため、平成13年3月に「恵庭市環境基本計画」を策定し、環境に関する各施策を進めてきました。また、令和4年6月には昨今の環境状況の変化を踏まえ、新たに「第3次恵庭市環境基本計画」を策定すると共に、「ゼロカーボンシティ宣言」も行い、地球温暖化対策、脱炭素により注力した施策を計画しています。

当計画では、各施策が着実に実行されているかを点検し、必要に応じて見直していくため、計画内で定めている基本目標ごとに指標を設定し進捗状況の確認を実施することとしており、令和4年度の調査値を基準と定めている指標があります。

また、本アンケートでお伺いした結果については、今後の施策見直しや新たな施策を検討する際に、より市民の皆様の現状やご要望に即したものとなるよう活用させていただきます。



市では環境に関する取り組みを進めていくため、環境の計画（環境基本計画）をたてています。



計画では目標ごとに指標を決めて、どのくらい達成できたか進捗確認をするようにしています。



今回、計画のうち令和4年を基準としている指標に関わることをお聞かせください！

<計画の対象とする環境の範囲>

現在、環境という言葉が表す範囲は広く、山林・河川や動植物などの「自然環境」から、公害などの「生活環境」、地球温暖化・エネルギーなどの「地球環境」、資源やごみなどの「循環」、環境教育や環境保全活動などの「協働」など、多種多様な分野が含まれています。

第3次恵庭市環境基本計画では、多様な環境問題に取り組んでいくため、環境問題を「自然環境」、「生活環境」、「地球環境」、「協働」という4つの基本目標に沿って、施策を推進しています

自然環境

自然と調和したまち（21 施策）

生活環境

安全・安心で快適に暮らせるまち（27 施策）

地球環境

地球にやさしい・持続可能なまち（76 施策）

協働

環境にやさしい人を育み、つながるまち（21 施策）

第3次恵庭市環境基本計画は市の公式ホームページにて公開しています。詳しくはこちらの2次元バーコードのリンク先へどうぞ！



⇒次のページへお進みください

問6 前の設問で「1. 持ち家（自身及び同居の親族が所有する住宅）」とご回答いただいた方に伺います。あなたがお住まいの住宅は、環境省が定める省エネ基準の一つであるZEH（net Zero Energy House）基準を満たしていますか？
次の中からあてはまるものを一つチェックしてください。

- 1. 新築・建て替え時に（リフォームは除く）ZEH基準を満たしている
- 2. ZEH基準を満たすようリフォームを行った
- 3. ZEH基準を満たさない住宅である
- 4. わからない

※ZEHとは

Net Zero Energy House の略称で、建物の断熱性能等の向上と高効率設備の導入により室内環境の質を維持しつつ、大幅な省エネルギーを実現した上で、太陽光発電などの再生可能エネルギーを導入することで、年間の一次エネルギー消費の収支をゼロにする住宅のことです。



建物自体で発電を行い、家で使うエネルギーを自分でまかなえる住宅です。

問7 あなたは脱炭素社会づくりに貢献する取組である「COOL CHOICE」を知っていますか？
次の中からあてはまるものを一つまでチェックしてください。

- 1. 知っている
- 2. 知らない

※COOL CHOICEとは

令和12（2030）年度の温室効果ガスの排出量を、平成25（2013）年度比で26％削減する目標の達成のために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動などに対して、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」（＝クールチョイス）を促す国民運動のことです。



節電やエコ機器購入、エコバック利用や公共交通機関利用などもクールチョイスです！

問8 あなたは普段の生活の中で、省エネ行動を行っていますか？
次の中からあてはまるものを一つチェックしてください。

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

※省エネ行動の例

買い物でエコバックを使う、必要のない照明や家電の電源をこまめにオフにする、冷暖房の温度や使用時間を節約する、エコドライブ（燃費が良くなる車の運転）、公共交通機関を極力利用するなど。

⇒次のページへお進みください

住まいについて

恵庭市では、平成28年度に策定した「恵庭市住生活基本計画（計画期間：平成29～38年度）」に基づいて、各種住宅関連施策に取り組んできたところです。
計画策定後5年が経過し、国・北海道の見直し計画である「住生活基本計画（全国計画）（令和3年3月）」及び「北海道住生活基本計画（令和4年3月）」を踏まえつつ、社会情勢の変化や新たな課題に対応した施策の展開に向けて、「恵庭市住生活基本計画」の見直しを行っているところです。

今回の調査では、今後の住宅施策の参考とするため、市民の皆様に「恵庭市の住み心地」や「今後の住み替え意向」などについてお伺いします。

恵庭市住生活基本計画（平成28年度版）は市の公式ホームページにて公開しています。
詳しくはこちらの2次元バーコードのリンク先へどうぞ！



● 住まいについて



問9 あなたにとって「恵庭市」の住み心地はどうですか。
次の中からあてはまるものを一つチェックしてください。

- 1. 住みやすい
- 2. どちらかといえば住みやすい
- 3. どちらかといえば住みにくい
- 4. 住みにくい

問10 あなたは、これからも「恵庭市」に住み続けたいと感じますか。
次の中からあてはまるものを一つチェックしてください。

- 1. ずっと住み続けたい →問11へ
- 2. どちらかといえば住み続けたい →問11へ
- 3. どちらかといえば市外へ引っ越したい →問12または問19へ
- 4. すぐにでも市外へ引っ越したい →問12または問19へ

⇒次のページへお進みください

現在、住生活基本計画の見直しにあたり、空き家・空き地の流動化促進に向けた施策を検討しています。
問12～問18は、問5で「1.持ち家（自身及び同居の親族が所有する住宅）」に住んでいると回答した方に伺います。
他の回答の方は問19までお進みください。

問12 現在お住まいの住宅の建築年について、下記の欄にご記入ください。

昭和・平成・令和 _____年 わからない

問13 現在お住まいの住宅の敷地面積について、下記の欄にご記入ください。

敷地面積：概ね _____坪 わからない

問14 現在お住まいの住宅に満足していますか？
次の中からあてはまるものを一つチェックしてください。

- 1. 大変満足
- 2. やや満足
- 3. やや不満
- 4. とても不満

問15 現在お住まいの住宅に将来も住み続けたいとお考えですか？
次の中からあてはまるものを一つチェックしてください。

- 1. 現在の住宅に住み続けたい →問19へ
- 2. 5年以内には、家を売却する予定 →問16へ
- 3. 今は住み続ける予定だが、将来には家の売却を予定している →問16へ
- 4. 家を売却したいが、できない理由や問題等がある →問16へ
- 5. 将来は子ども等への相続を検討している →問19へ
- 6. わからない →問19へ
- 7. その他（ _____ ） →問19へ

⇒次のページへお進みください

恵庭市公式アプリ「えにわか」について

恵庭市では、[観光]、[市民生活]、[経済]、[まちづくり]の異なる分野をつなげ、一体的に施策を展開することで相乗効果を引き出し、より良いまちづくりを進めることを目的に、令和4年6月、市公式アプリ「えにわか」をリリースしました。

「えにわか」には、生活情報や観光・グルメ等の市内情報、緊急性の高い情報などを掲載しているほか、目的や所要時間から、地図上で観光名所や店舗などの各種施設が掲載されるマップ機能を搭載しています。

今後は、ポイント付与や健康管理などの機能追加を予定しているほか、利用者の皆さまが必要な情報を選び、楽しみながら利用できるような機能の拡充を進めていきます。

今回の調査では、公式アプリ「えにわか」をより良いものとしていくため、市民の皆様にご利用状況やご意見をお伺いします。

公式アプリ「えにわか」の詳細及びダウンロードはこちらの
2次元バーコードのリンク先へどうぞ！



⇒次のページへお進みください

● 恵庭市公式アプリ「えにわか」について

問19 あなたは、恵庭市公式アプリ「えにわか」（令和4年6月利用開始）を知っていますか？
次の中からあてはまるものをチェックしてください。

1. 知っている
 2. 知らない

問20 「えにわか」のホーム画面にあるアイコンの各機能について、次の中から使っているもの・使いたいものを次の中から三つまでチェックしてください。

1.	<input type="checkbox"/> 【えにわかナビ】 今いる場所から選択した目的地までの距離や時間が分かります。目的地は、距離やカテゴリから検索可能です。複数の目的地選択にも対応し、最短ルートを表示しナビゲーションします。
2.	<input type="checkbox"/> 【観光サイト・スポット情報】 恵庭市の観光スポットや飲食店などを紹介しています。恵庭市の観光情報サイトもボタンひとつで閲覧できます。シェアサイクルやエコバスの運行状況が確認可能です。
3.	<input type="checkbox"/> 【HP・広報・SNS】 広報えにわ、恵庭市公式インスタグラム・Facebookへ簡単にアクセスできます。
4.	<input type="checkbox"/> 【イベント情報】 恵庭市のイベント情報カレンダーにアクセスできます。新しいイベントやお知らせ情報はプッシュ通知でお知らせします。
5.	<input type="checkbox"/> 【行政手続検索】 転入・転出・妊娠・出産・死亡といった、恵庭市での暮らしの手続きに関してまとめています。
6.	<input type="checkbox"/> 【ごみ】 恵庭市のゴミ分別方法がすぐ検索できる機能です。家庭ゴミを減量するリユースの活用情報も掲載しています。
7.	<input type="checkbox"/> 【公共施設】 体育館や会館など、恵庭市の公共施設が予約できます。本のまち恵庭ならではの「まちじゅう図書館」や恵庭市図書館の情報も閲覧可能です。
8.	<input type="checkbox"/> 【防災】 防災無線の放送内容を文字で確認できます。避難所情報や防災ガイドブックがすぐに閲覧できます。
9.	<input type="checkbox"/> 【夜間・休日急病診療】 休日・夜間の急病時に診察が受けられる医療機関の情報にリンクしています。
10.	<input type="checkbox"/> 【健康・子育て】 健康づくりや子育てに役立つサイトにリンクしています。

⇒次のページへお進みください

住宅防火について

消防法では、皆さまの大切な生命、財産を火災から守るため、住宅に住宅用火災警報器（以下「住警器」といいます）を設置することが義務付けられています。

恵庭市では、住警器の設置、また、警報機能の維持を目指し様々な情報提供を行って参りましたが、さらなる普及推進を図るため、「未設置の理由」や「どのような情報発信が望まれているのか」、「どのような市民サービスが望まれているのか」などのご意見をいただき現状を把握、検討を行うことといたしました。

本アンケートでお伺いした結果については、「安心して安全に暮らせるまちづくり」を推進し、より市民の皆様の現状やご要望に即したものとなるよう活用させていただきます。



< 住宅用火災警報器（住警器）の一例 >

住宅用火災警報器（住警器）の設置が功を奏した事例については、2次元バーコードのリンク先へどうぞ！



● 住宅防火について

問 2 3 あなたの同居家族について、次の中からあてはまるものを一つチェックしてください。

- 1. 一人暮らし
- 2. 配偶者と二人暮らし
- 3. 二世帯（子又は親と同居）
- 4. 三世帯又はそれ以上
- 5. その他（同居者： _____）

⇒次のページへお進みください

問24 あなたがお住まいの住宅に住警器は設置されていますか？
次の中からあてはまるものを一つチェックしてください。

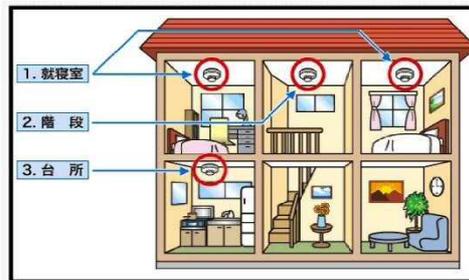
- | | |
|---------------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> 1. 設置済 | →問25へ |
| <input type="checkbox"/> 2. 未設置 | →問31へ |

問25 前の設問で「1. 設置済」とご回答いただいた方に伺います。恵庭市火災予防条例では次の場所に住警器の設置が義務付けられています。
あなたがお住まいの住宅の設置状況について、あてはまるものを一つチェックしてください。

- | |
|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 全て設置済 |
| <input type="checkbox"/> 2. 一部設置済 |

※住警器の設置が義務付けられている場所

①寝室 ②階段（寝室が2階以上の階にある場合）③台所



問26 問24で「1. 設置済」とご回答いただいた方に伺います。現在設置している住警器は、設置してから何年経過していますか？
わからない場合は一番近いものを一つチェックしてください。

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 5年未満 |
| <input type="checkbox"/> 2. 5年以上10年未満 |
| <input type="checkbox"/> 3. 10年以上15年未満 |
| <input type="checkbox"/> 4. 15年以上 |

⇒次のページへお進みください

問27 問24で「1. 設置済」とご回答いただいた方に伺います。あなたは今までにお住まいの住宅に設置されている住警器を点検したことがありますか？次の中からあてはまるものを一つチェックしてください。

【補足説明】

住警器は、電池の消耗や機器の老朽による故障の確認のため、点検を行い10年を目安に交換することが推奨されています。

1. ある →問28へ
 2. ない →問30へ

問28 前の設問で「1. ある」とご回答いただいた方に伺います。あなたは今までにお住まいの住宅に設置されている住警器を交換したことがありますか？次の中からあてはまるものを一つチェックしてください。

1. ある →問29へ
 2. ない →問32へ

問29 前の設問で「1. ある」とご回答いただいた方に伺います。住警器を交換した理由について、次の中から一番あてはまるものを一つチェックしてください。

1. 点検で故障・電池切れがわかったから
 2. 住警器の電池が切れ、お知らせアラームが鳴ったから
 3. 住警器を設置してから年数が経過したから
 4. その他（)

問30 問27で「2. ない」とご回答いただいた方に伺います。住警器を点検をしたことがない理由について、次の中から一番あてはまるものを一つチェックしてください。

1. 知らなかった
 2. やり方がわからない
 3. 点検が面倒だ
 4. まだ必要ないと思った
 5. まだ新しい
 6. その他（)

⇒次のページへお進みください

問35 住警器に関する情報提供について、どのような方法が効果的だと思いますか？
あなたが効果的だと思う方法に近いものを、次の中から三つまでチェックしてください。

- 1. 広報えにわ
- 2. 恵庭市ホームページ
- 3. 恵庭市公式SNS (Facebook, YouTube等)
- 4. 町内会・自治会の回覧板
- 5. 新聞・地域情報誌
- 6. その他 ()

問36 市政全般についてお気づきの点がありましたら、どのようなことでも構いませんので、ご自由にお書きください。

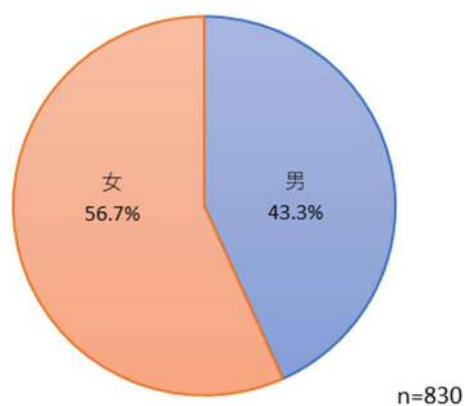
以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

第 2. 「調査結果の分析」

1) 回答者の属性について

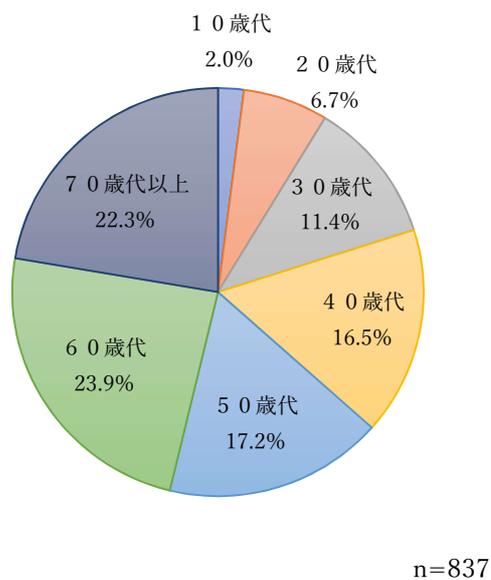
(1) 性別（一つだけ選択）

- ・ 回答者の性別は、「男性」が 43.3%、「女性」が 56.7%であった。
- ・ 「女性」の回答者が、「男性」よりも 13.4 ポイント多かった。



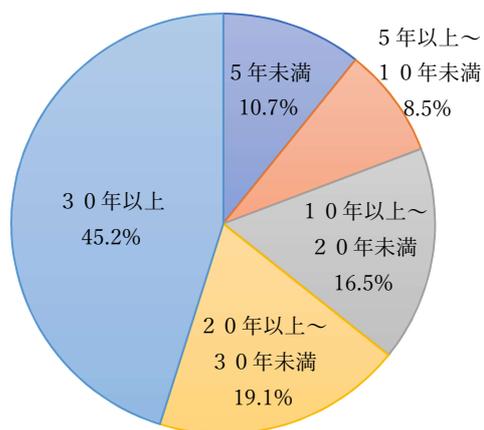
(2) 年齢（一つだけ選択）

- ・ 回答者の年齢は、「60 歳代」が 23.9%で最も多く、次いで「70 歳代以上」が 22.3%であった。
- ・ 「10 歳代」は 2.0%、「20 歳代」は 6.7%と低い。



(3) 恵庭市での居住年数（一つだけ選択）

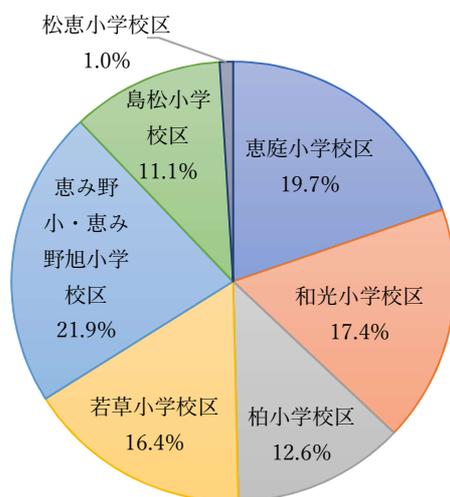
- ・ 回答者の恵庭市での居住年数は、「30年以上」が45.2%で最も多く、「20年以上～30年未満」が19.1%、「10年以上～20年未満」が16.5%と続いた。
- ・ 居住年数が長い人ほど回答が多い結果となった。



n=828

(4) 居住地域（一つだけ選択）

- ・ 回答者の居住地域は、「恵み野小・恵み野旭小学校区」が21.9%で最も多く、次いで「恵庭小学校区」が19.7%、「和光小学校区」が17.4%であった。

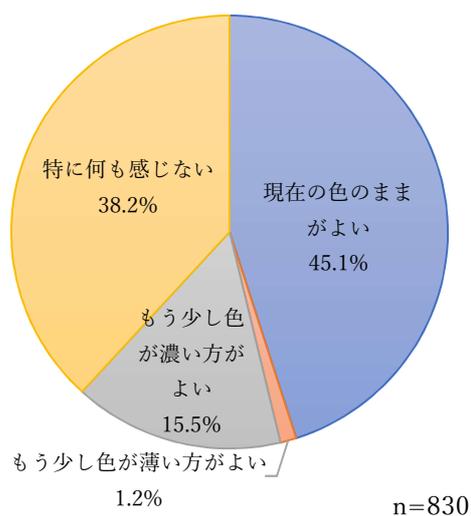


n=828

2) ごみ袋について

問1 恵庭市有料指定ごみ袋の色（一つだけ選択）

- ・ごみ袋の色については、「現在の色のままがよい」が45.1%で最も多く、次いで「特になにも感じない」が38.2%であった。



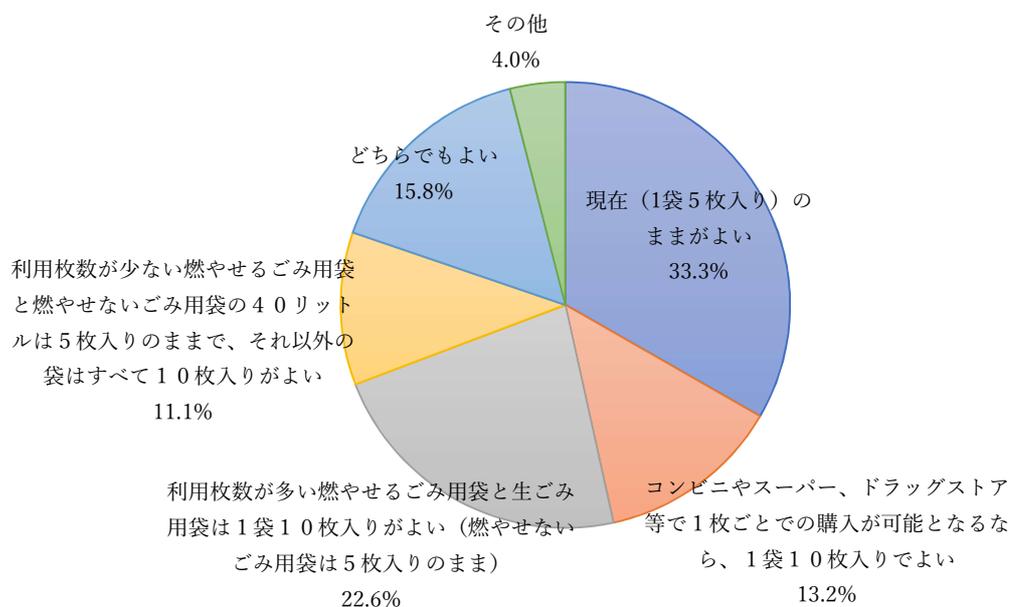
<年齢別の回答>

- ・「もう少し色が濃い方がよい」と答えた割合が多かったのは「50歳代」だった。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	未記入	総計
現在の色のままがよい	4	18	27	57	50	99	118	1	374
もう少し色が薄い方がよい	1	0	2	2	1	1	3	0	10
もう少し色が濃い方がよい	2	8	16	17	37	26	22	1	129
特になにも感じない	10	29	50	61	55	70	40	2	317
未記入	0	1	0	1	1	4	4	1	12
総計	17	56	95	138	144	200	187	5	842

問2 恵庭市有料指定ごみ袋の枚数変更（一つだけ選択）

- ・ごみ袋の枚数変更については、「現在（1袋5枚入り）のままがよい」が33.3%で最も多く、次いで「利用枚数が多い燃やせるごみ用袋と生ごみ用袋は1袋10枚入りがよい（燃やせないごみ用袋は5枚入りのまま）」が22.6%であった。



n=831

<その他の主な内容>

- ・「5枚入りと10枚入りと2種類あって良い」、「どちらでも良いが、ゴミ袋の価格が高い」など。

<年齢別の回答>

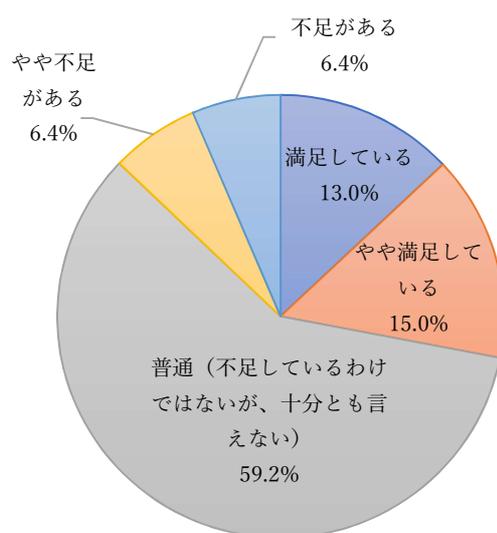
・高年齢になるほど、「現在（1袋5枚入り）のままがよい」と答えた割合が多かった。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 以上	未記入	総計
現在（1袋5枚入り）のままがよい	3	16	18	39	46	72	82	1	277
コンビニやスーパー、ドラッグストア等で1枚ごとでの購入が可能となるなら、1袋10枚入りでよい	2	10	16	26	18	27	11	0	110
利用枚数が多い燃やせるごみ用袋と生ごみ用袋は1袋10枚入りがよい（燃やせないごみ用袋は5枚入りのまま）	6	9	21	27	32	50	42	1	188
利用枚数が少ない燃やせるごみ用袋と燃やせないごみ用袋の40リットルは5枚入りのまま、それ以外の袋はすべて10枚入りがよい	0	5	13	12	17	18	26	1	92
どちらでもよい	5	14	23	23	25	20	20	1	131
その他	1	1	4	10	5	8	4	0	33
未記入	0	1	0	1	1	5	2	1	11
総計	17	56	95	138	144	200	187	5	842

3) 環境について

問3 市や事業者が提供する環境に関する情報（一つだけ選択）

- 市や事業者が提供する環境に対する情報の質・量・分かりやすさについては、「普通（不足しているわけではないが、十分とも言えない）」が59.2%で最も多く、次いで「やや満足している」が15.0%であった。



n=825

<年齢別の回答>

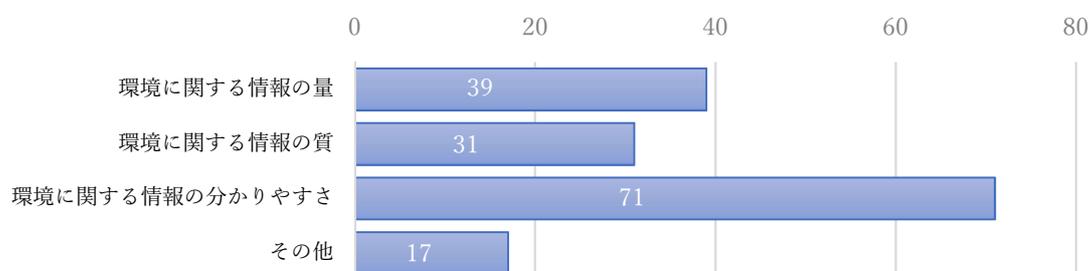
- 「満足している」「やや満足している」と答えた割合が多かったのは「10歳代」で、不足を感じている回答はなかった。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	未記入	総計	
満足している		3	9	17	14	13	21	29	1	107
やや満足している		4	5	12	17	26	25	35	0	124
普通（不足しているわけではないが、十分とも言えない）		10	34	55	85	81	123	98	2	488
やや不足がある		0	3	4	8	13	15	10	0	53
不足がある		0	3	7	12	10	11	9	1	53
未記入		0	2	0	2	1	5	6	1	17
総計		17	56	95	138	144	200	187	5	842

(問3で「やや不足がある」もしくは「不足がある」と回答した方)

問4 市や事業者が提供する環境に対する情報で不足している点について (複数選択)

- ・不足している点は、「環境に関する情報の分かりやすさ」が71と最も多く、次いで「環境に関する情報の量」が39であった。

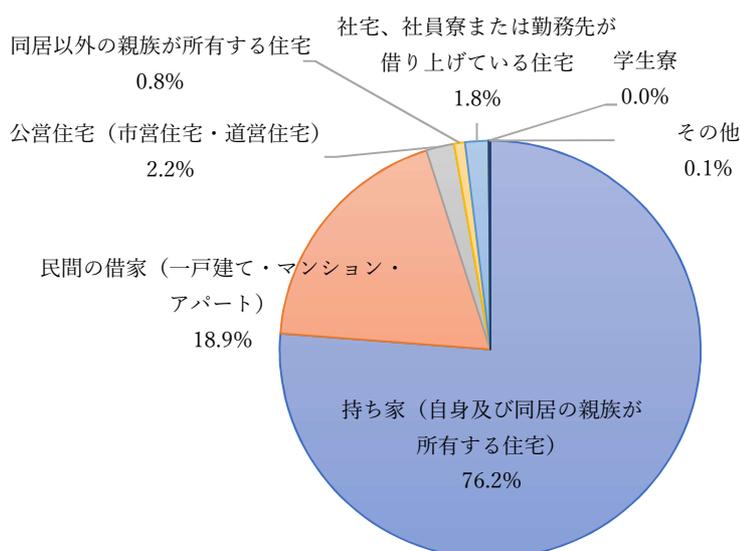


<その他の主な内容>

- ・「何をしているか何も知らない」、「情報発信量・方法」など。

問5 居住する住宅の種類 (一つだけ選択)

- ・居住する住宅の種類については、「持ち家 (自身及び同居の親族が所有する住宅)」が76.2%で最も多く、次いで「民間の借家 (一戸建て・マンション・アパート)」が18.9%であった。



n=837

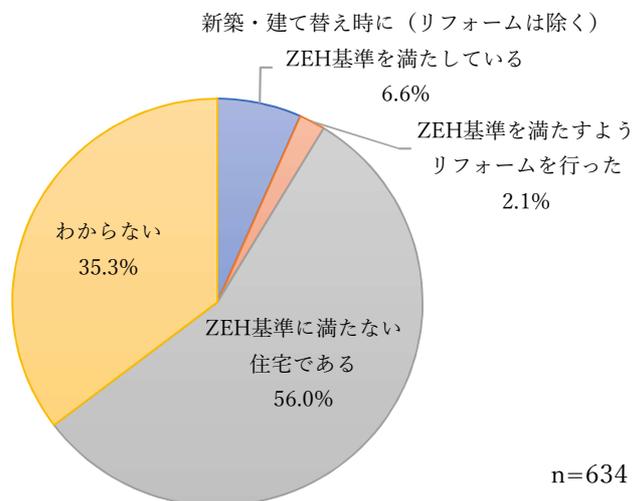
<その他の主な内容>

- ・「持ち家でも借家でもない一軒家」

(問5で「持ち家(自身及び同居の親族が所有する住宅)」と回答した方)

問6 居住する住宅の ZEH 基準 (一つだけ選択)

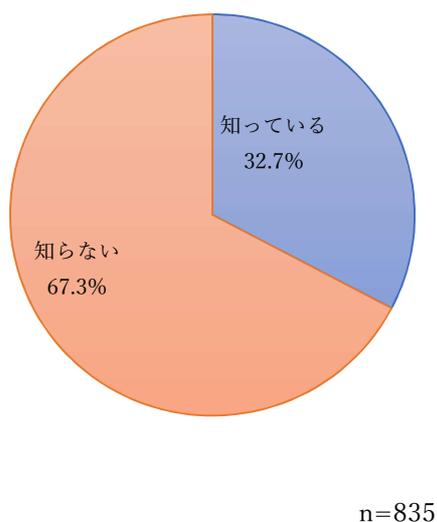
- ・ 居住する住宅が ZEH の基準を満たしているかについては、「ZEH 基準を満たさない住宅である」が 56.0%で最も多く、次いで「わからない」が 35.3%であった。



○ZEH (ゼッチ) とは Net Zero Energy House の略称で、建物の断熱性能等の向上と高効率設備の導入により室内環境の質を維持しつつ、大幅な省エネルギーを実現した上で、太陽光発電などの再生可能エネルギーを導入することで、年間の一次エネルギー消費の収支をゼロにする住宅のことです。

問7 COOL CHOICE の認知度 (一つだけ選択)

- ・ COOL CHOICE を知っているかについては、「知らない」が 67.3%、「知っている」は 32.7%であった。



○COOL CHOICE とは 令和 12 (2030) 年度の温室効果ガスの排出量を、平成 25 (2013) 年度比で 26%削減する目標の達成のために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動などに対して、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」(=クールチョイス) を促す国民運動のことです。

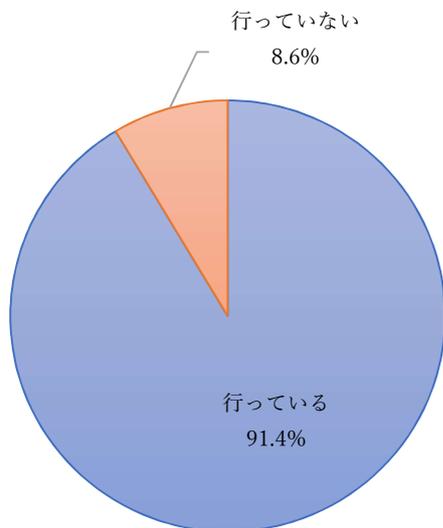
<年齢別の回答>

・「知らない」と答えた割合が多かったのは「20歳代」「30歳代」「40歳代」だった。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	未記入	総計
知っている	6	14	24	36	48	67	77	1	273
知らない	11	42	71	102	95	131	107	3	562
未記入	0	0	0	0	1	2	3	1	7
総計	17	56	95	138	144	200	187	5	842

問8 普段の省エネ行動（一つだけ選択）

・普段から省エネ行動を実施しているかについては、「行っている」が91.4%で「行っていない」の8.6%を上回った。



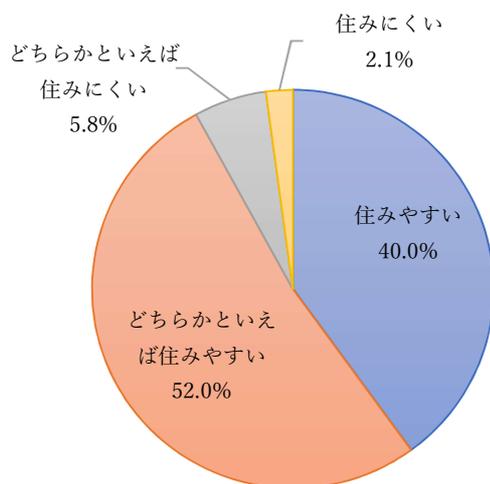
○省エネ行動の例
 買い物でエコバックを使う、
 必要のない照明や家電の電源
 をこまめにオフにする、冷暖
 房の温度や使用時間を節約す
 る、エコドライブ（燃費が良
 くなる車の運転）、公共交通
 機関を極力利用するなど。

n=836

4) 住まいについて

問9 住み心地について (一つだけ選択)

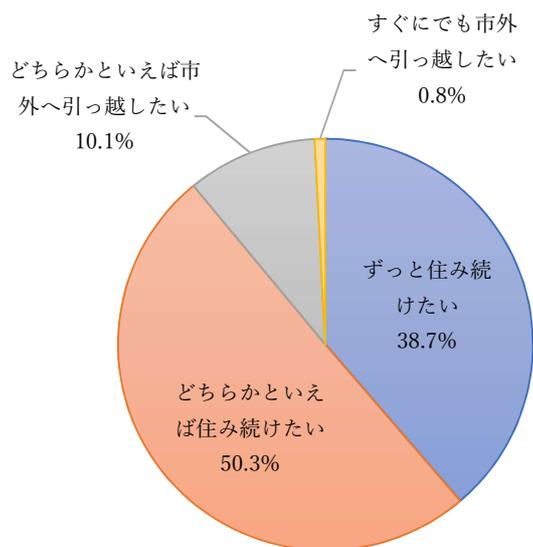
・恵庭市の住み心地については、「どちらかといえば住みやすい」が52.0%で最も多く、次いで「住みやすい」が40.0%であった。



n=838

問10 「恵庭市」の永住意向 (一つだけ選択)

・恵庭市への永住については、「どちらかといえば住み続けたい」が50.3%で最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」が38.7%であった。

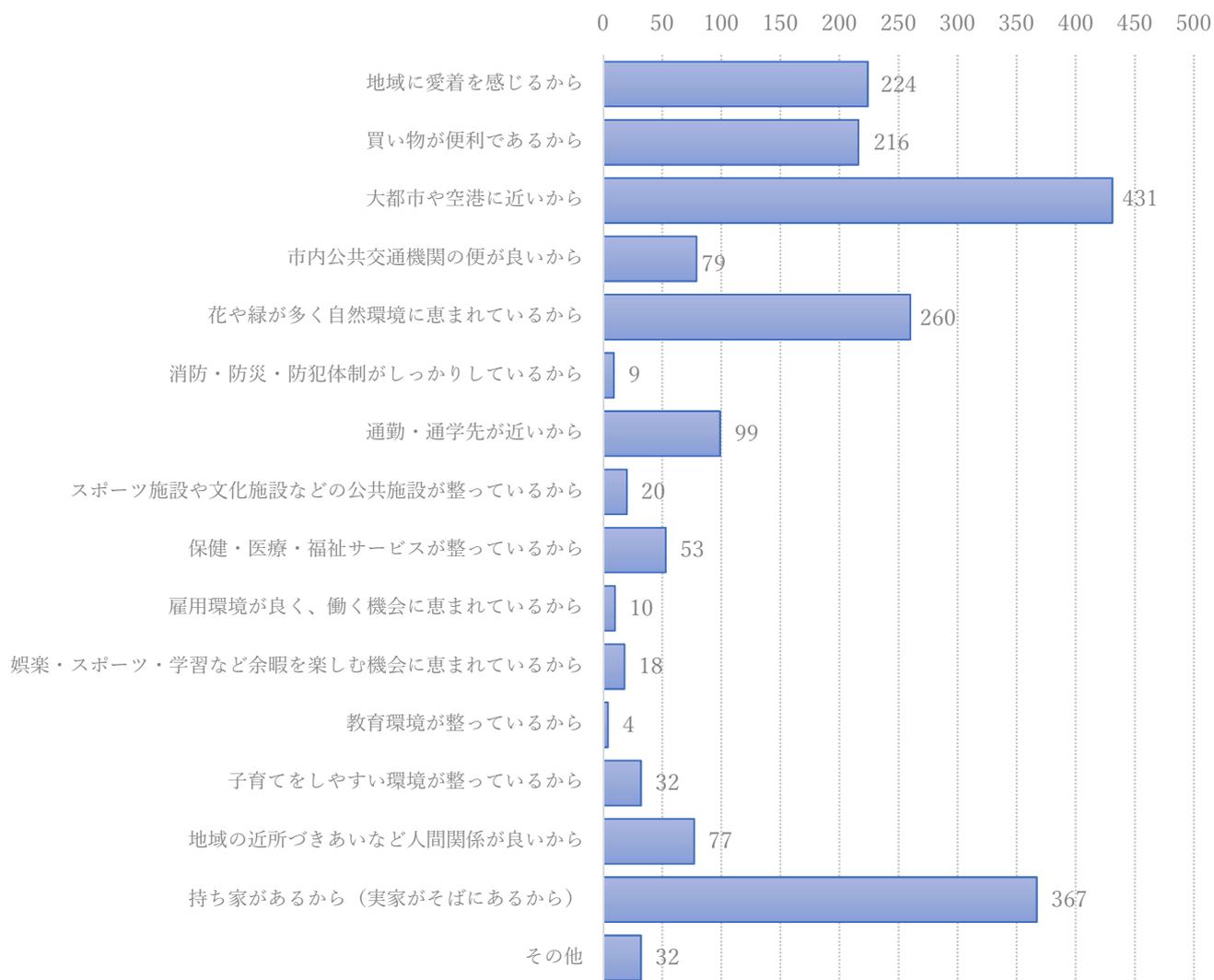


n=839

(問10で「ずっと住みたい」・「どちらかといえば住みたい」と回答した方)

問11 「恵庭市」に住みたい理由(三つまで選択)

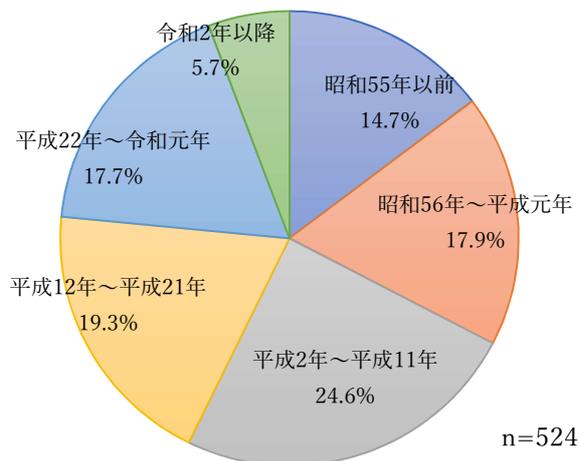
・恵庭市に住みたい理由については、「大都市や空港に近いから」が431と最も多く、次いで「持ち家があるから(実家がそばにあるから)」が367であった。



(問 12～問 18 は、問 5 で「持ち家 (自身及び同居の親族が所有する住宅)」と回答した方)

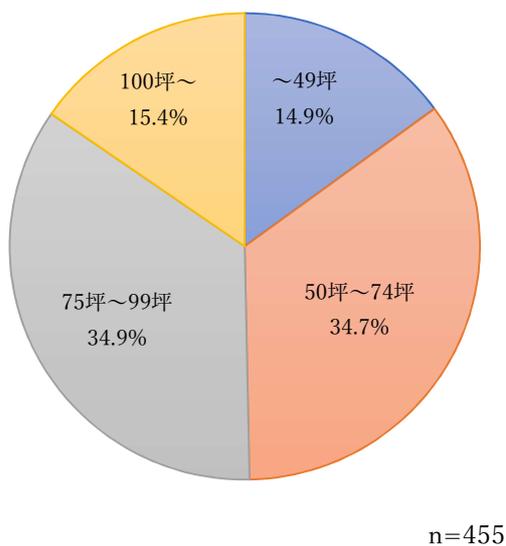
問 12 現在の住宅の建築年 (記入回答)

- ・現在の住宅の建築年については、「平成 2 年～平成 11 年」が 24.6%で最も多く、次いで「平成 12 年～平成 21 年」が 19.3%であった。旧耐震基準 (昭和 56 年以前) の「昭和 55 年以前」は 14.7%であった。



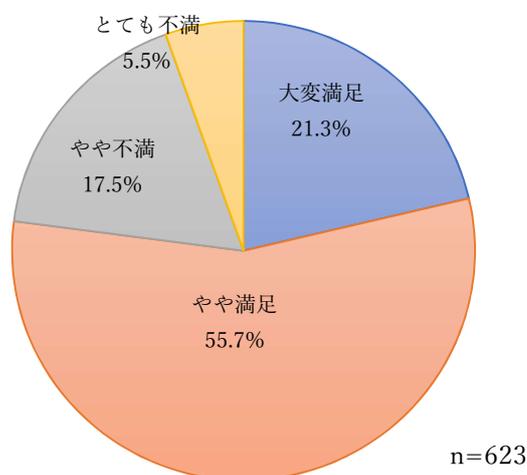
問 13 現在の住宅の敷地面積 (記入回答)

- ・現在の住宅の敷地面積については、「75 坪～99 坪」が 34.9%で最も多く、次いで「50 坪～74 坪」が 34.7%であった。



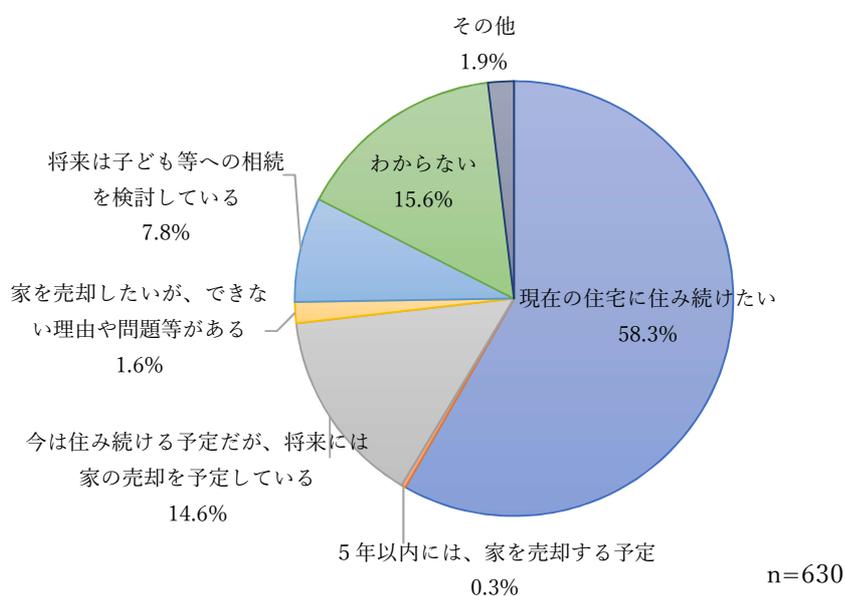
問 14 現在の住宅への満足（一つだけ選択）

- ・現在の住宅に満足しているかについては、「やや満足」が55.7%で最も多く、次いで「大変満足」が21.3%であった。



問 15 現在の住宅での住み続ける意向（一つだけ選択）

- ・現在の住宅に住み続けたいかについては、「現在の住宅に住み続けたい」が58.3%で最も多く、次いで「わからない」が15.6%であった。



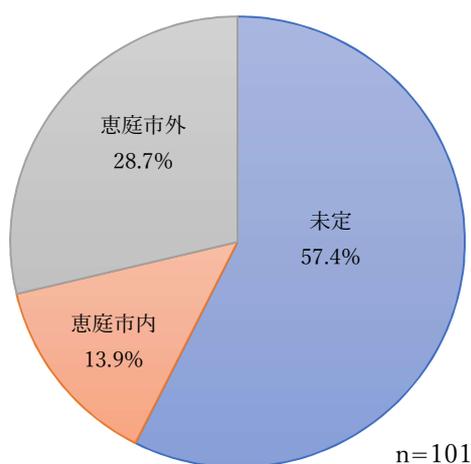
<その他の主な内容>

- ・「リフォームか建て替えを検討中」、「引越予定」など。

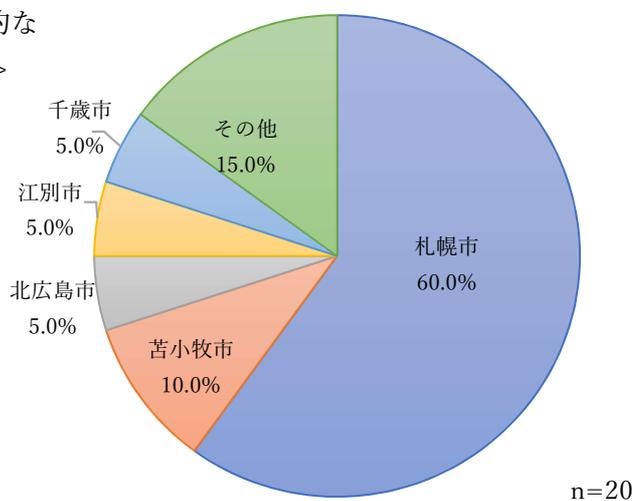
(問 16～問 18 は、問 15 で「5 年以内には、家を売却する予定」・「今は住み続ける予定だが、将来には家の売却を予定している」・「家を売却したいが、できない理由や問題等がある」と回答した方)

問 16 住み替えを予定している市町村 (一つだけ選択)

・住み替えを予定している市町村については、「未定」が 57.4% で最も多く、次いで「恵庭市外」が 28.7% であった。また「恵庭市外」の具体的な住み替え予定先については、札幌市 (60.0%) や苫小牧市 (10.0%) が多い。



< 恵庭市外の具体的な住み替え予定先 >



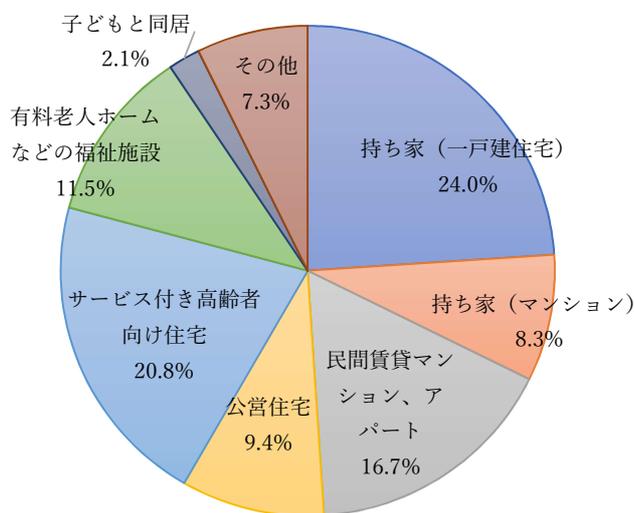
< 年齢別の回答 >

・回答がなかった「10 歳代」以外は、どの年代も回答の約半数ほどは「未定」であった。

	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上	未記入	総計
未定	0	2	1	12	11	20	12	0	58
恵庭市内	0	0	0	3	2	2	7	0	14
恵庭市外	0	3	1	4	7	8	5	1	29
未記入	0	0	0	0	1	0	2	0	3
総計	0	5	2	19	21	30	26	1	104

問 17 住み替えを予定している住宅の種類（一つだけ選択）

・住み替えを予定している住宅の種類については、「持ち家（一戸建住宅）」が 24.0%で最も多く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅」が 20.8%であった。



n=96

<その他の主な内容>

・「未定」、「車（バンライフ）」など。

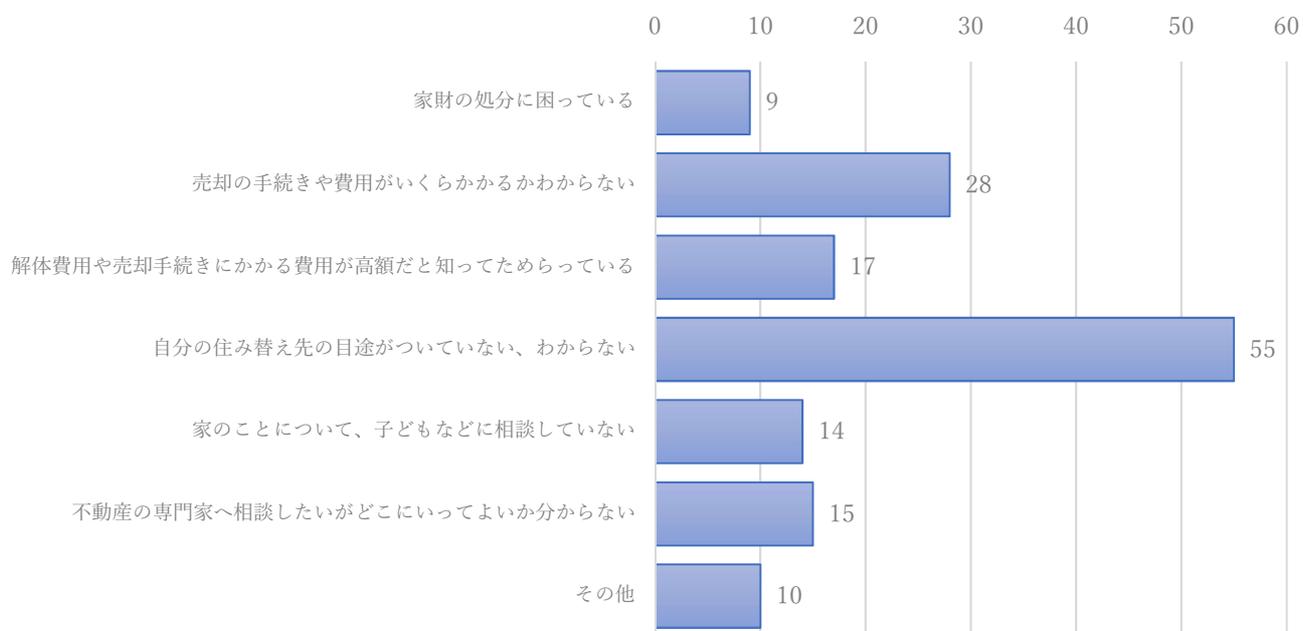
<年齢別の回答>

・回答がなかった「50 歳代」の回答では、「民間賃貸マンション、アパート」の希望が 20%程度あったが、「60 歳代」「70 歳代以上」では割合が下がり、代わりに「有料老人ホームなどの福祉施設」の回答割合が上がった。

	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上	未記入	総計
持ち家（一戸建住宅）	0	3	0	5	4	5	5	1	23
持ち家（マンション）	0	0	0	1	3	2	2	0	8
民間賃貸マンション、アパート	0	1	1	5	5	3	1	0	16
公営住宅	0	0	0	0	2	3	4	0	9
サービス付き高齢者向け住宅	0	0	0	4	5	7	4	0	20
有料老人ホームなどの福祉施設	0	1	0	1	0	5	4	0	11
子どもと同居	0	0	0	0	0	1	1	0	2
その他	0	0	1	1	1	2	2	0	7
未記入	0	0	0	2	1	2	3	0	8
総計	0	5	2	19	21	30	26	1	104

問18 住宅の売却における困りごと（すべて選択）

・住宅の売却に際して、困っていることは、「自分の住み替え先の目途がついていない、わからない」が55と最も多く、次いで「売却の手続きや費用がいくらかかるかわからない」が28であった。



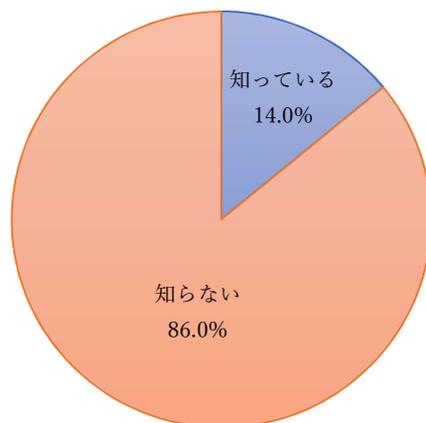
<その他の主な内容>

・「予定なので、まだわからない」、「当面困っていることはない」など。

5) 恵庭市公式アプリ「えにわか」について

問19 「えにわか」の認知度（一つだけ選択）

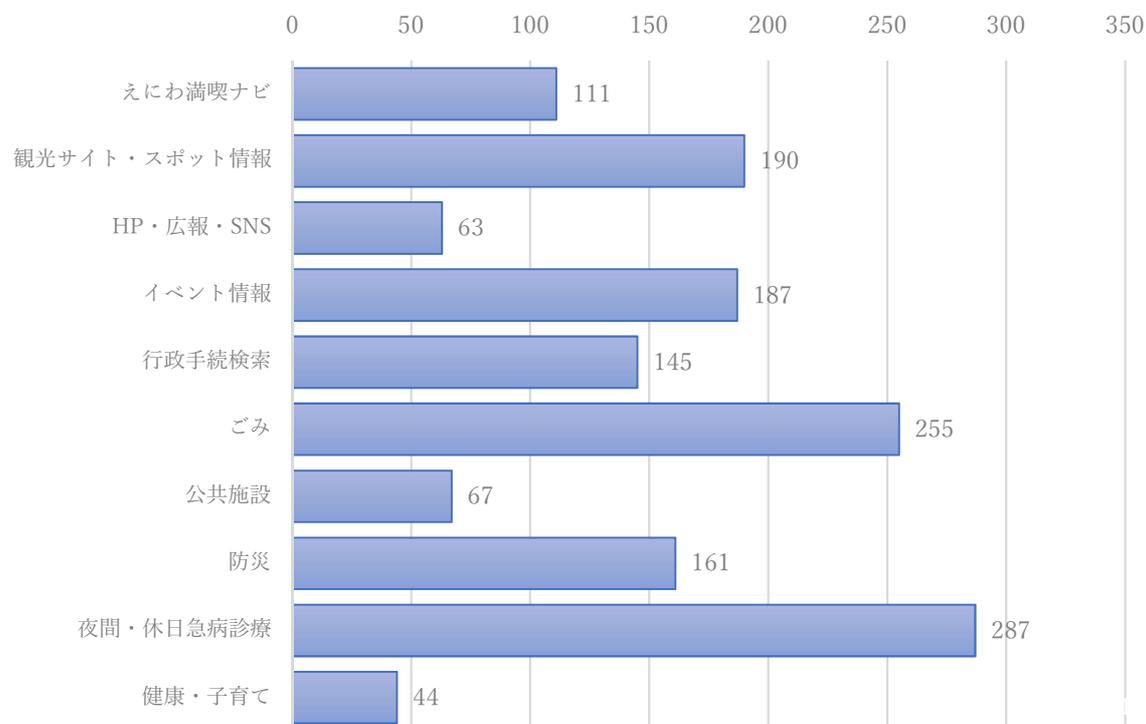
・「えにわか」を知っているかについては、「知らない」が86.0%、「知っている」は14.0%であった。



n=833

問20 「えにわか」で使っている・使いたい機能（三つまで選択）

・「えにわか」で使っている・使いたい機能については、「夜間・休日急病診療」が287と最も選ばれ、次いで「ごみ」が255であった。



問21 「えにわか」に追加してほしい機能（三つまで選択）

・「えにわか」に追加してほしい機能については、「災害等の通信障害時でも防災ガイドブックや防災マップ（PDF）が見られる機能」が211と最も選ばれ、次いで「各機能と連動し店舗等で利用できるポイント機能」が179であった。



<その他の主な内容>

・「「えにわか」を知らない」、「高齢者には難しい、理解できない」など。

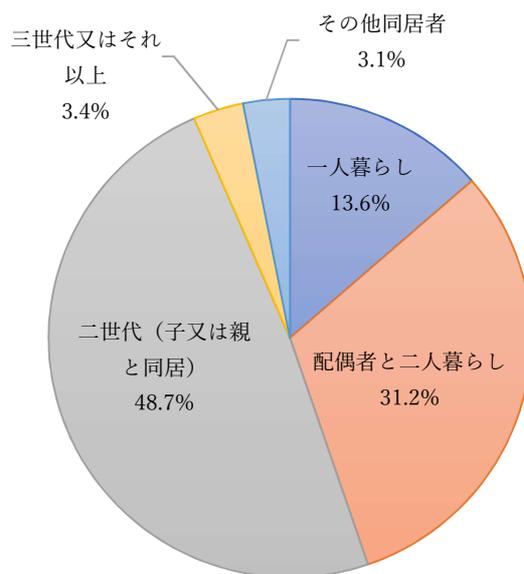
問22 「えにわか」への意見（自由回答）

・「えにわか」への意見については、「エコバスの時刻表」や「市内のイベント周知」、「災害・除排雪情報」などの情報提供に関する要望意見が多数あった。また、「スマホを持っていない」や「アプリ操作は難しい」などアプリの利用の難しさに関する意見も複数回答があった。

6) 住宅防火について

問23 同居の家族（一つだけ選択）

- 同居の家族については、「二世世代（子又は親と同居）」が48.7%で最も多く、次いで「配偶者と二人暮らし」が31.2%であった。



n=831

<その他の主な内容>

- ・「同棲」、「兄弟」など。

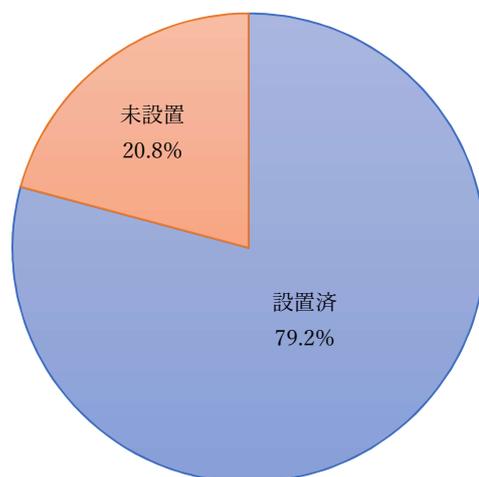
<年齢別の回答>

- ・「10歳代」から「50歳代」までは「二世世代（子又は親と同居）」が回答の過半数を占め、「60歳代」「70歳代以上」は「配偶者と二人暮らし」が回答の多くを占めた。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	未記入	総計
一人暮らし	1	9	15	13	22	22	30	1	113
配偶者と二人暮らし	0	6	12	15	37	100	89	0	259
二世世代（子又は親と同居）	14	30	61	102	75	65	55	3	405
三世代又はそれ以上	1	3	3	4	3	7	6	1	28
その他同居者	0	6	3	4	6	4	3	0	26
未記入	1	2	1	0	1	2	4	0	11
総計	17	56	95	138	144	200	187	5	842

問 24 居住する住宅への住警器の設置（一つだけ選択）

- ・ 居住する住宅への住警器の設置については、「設置済」が 79.2%で「未設置」の 20.8%を上回った。

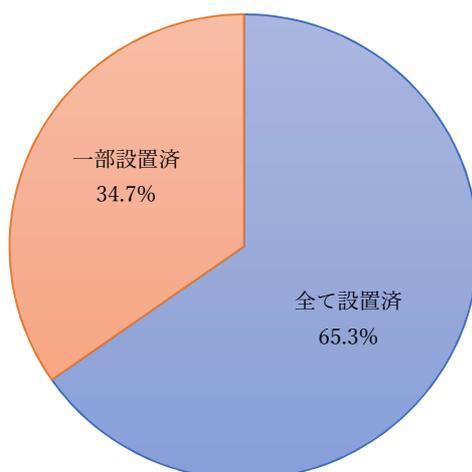


n=831

（問 25～問 27 は、問 24 で「設置済」と回答した方）

問 25 恵庭市火災予防条例で定める場所への住警器の設置（一つだけ選択）

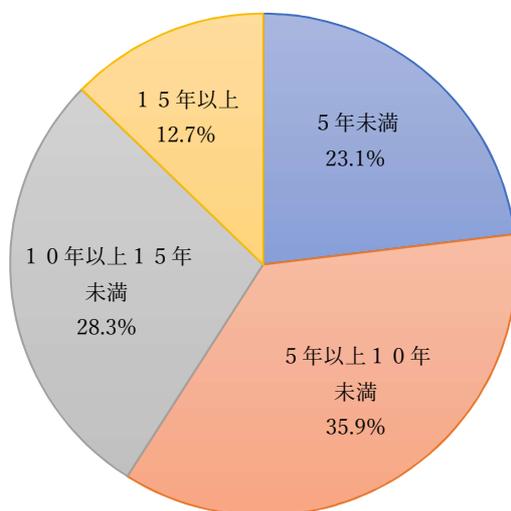
- ・ 居住する住宅の恵庭市火災予防条例で定める場所への住警器の設置については、「全て設置済」が 65.3%、「一部設置済」が 34.7%であった。



n=654

問 26 住警器の設置年数（一つだけ選択）

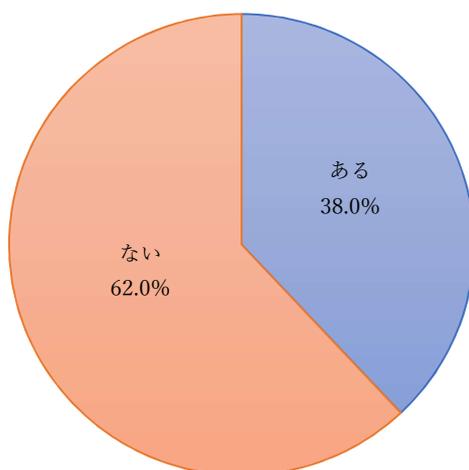
- ・ 居住する住宅の住警器の設置年数については、「5年以上10年未満」が35.9%で最も多く、次いで「10年以上15年未満」が28.3%であった。



n=637

問 27 住警器の点検（一つだけ選択）

- ・ 居住する住宅の住警器の点検の有無については、「ない」が62.0%、「ある」が38.0%であった。

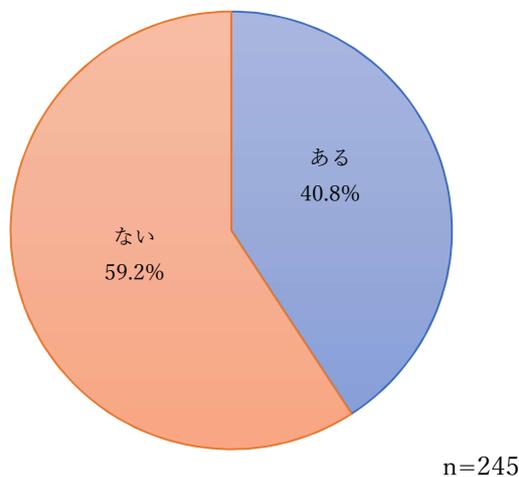


n=650

(問 27 で「ある」と回答した方)

問 28 住警器の交換 (一つだけ選択)

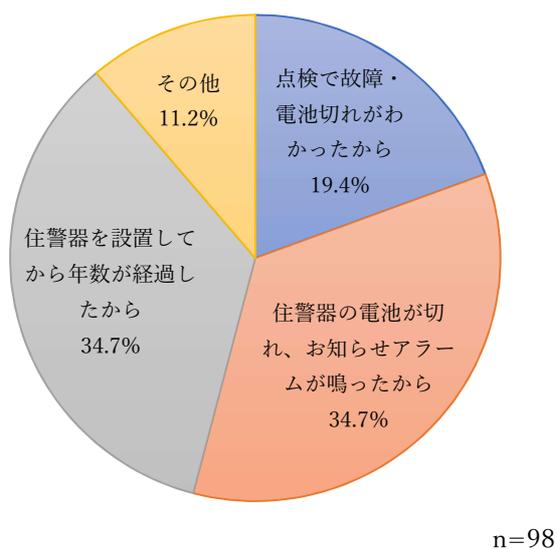
- ・ 居住する住宅の住警器の交換の有無については、「ない」が 59.2%、「ある」が 40.8%であった。



(問 28 で「ある」と回答した方)

問 29 住警器を交換した理由 (一つだけ選択)

- ・ 住警器を交換した理由については、「住警器の電池が切れ、お知らせアラームが鳴ったから」と「住警器を設置してから年数が経過したから」がどちらも 34.7%で最も多かった。



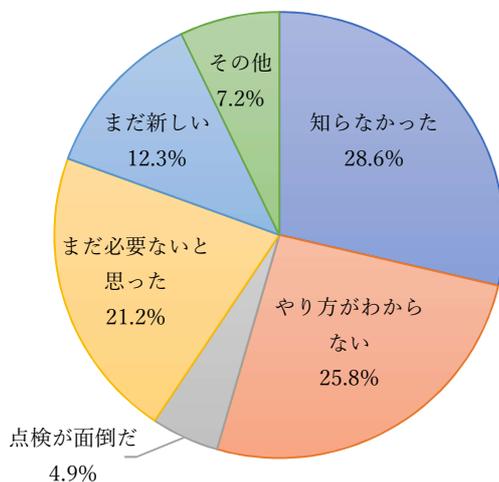
<その他の主な内容>

- ・ 「管理会社から交換の案内がきたから」、「定期的に交換している」など。

(問 27 で「ない」と回答した方)

問 30 住警器を点検しない理由 (一つだけ選択)

- ・ 住警器を点検しない理由については、「知らなかった」が 28.6%で最も多く、次いで「やり方がわからない」が 25.8%であった。



n=391

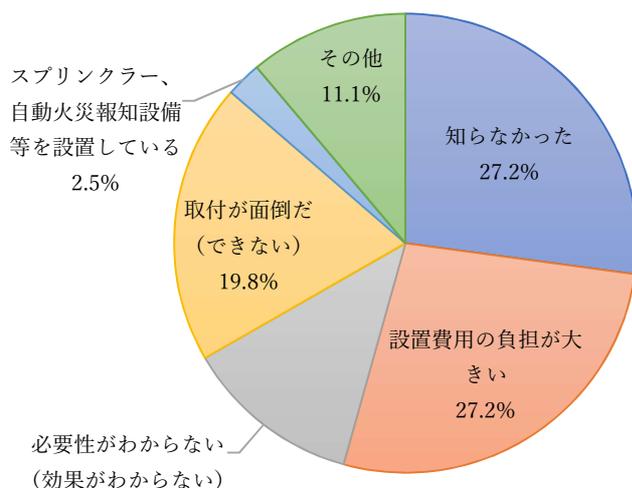
<その他の主な内容>

- ・「借家のためわからない」、「引っ越してきて 2 年で、新しいと思っている」など。

(問 24 で「未設置」と回答した方)

問 31 住警器を設置しない理由 (一つだけ選択)

- ・ 住警器を設置しない理由については、「知らなかった」と「設置費用の負担が大きい」がどちらも 27.2%で最も多かった。



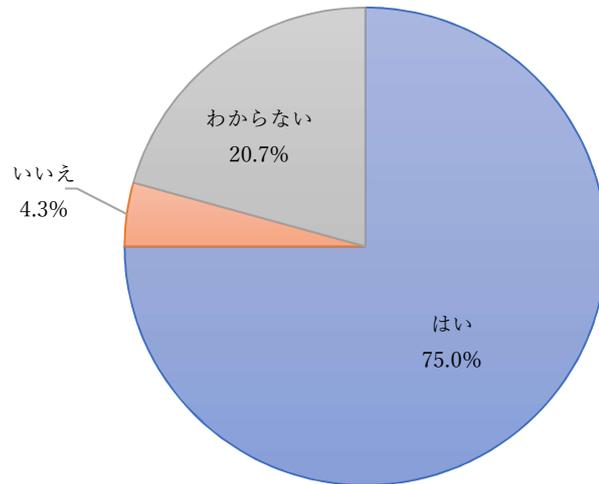
n=162

<その他の主な内容>

- ・「アパートなのでわからない」、「以前は設置していた」など。

問 32 住警器の設置・交換の補助制度があれば利用するか（一つだけ選択）

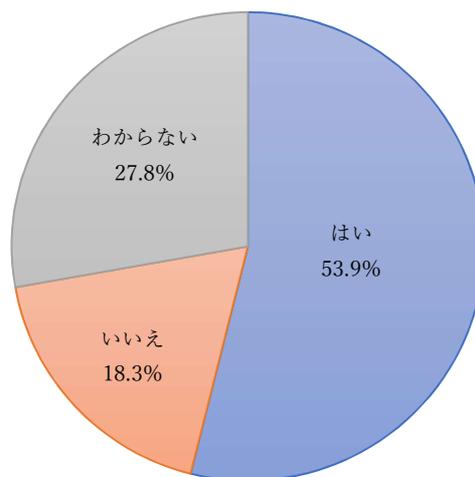
- ・ 住警器の新規設置・交換の費用を補助する制度があれば利用したいかについては、「はい」が 75.0%で最も多く、次いで「わからない」が 20.7%であった。



n=768

問 33 住警器の取付代行制度があれば利用するか（一つだけ選択）

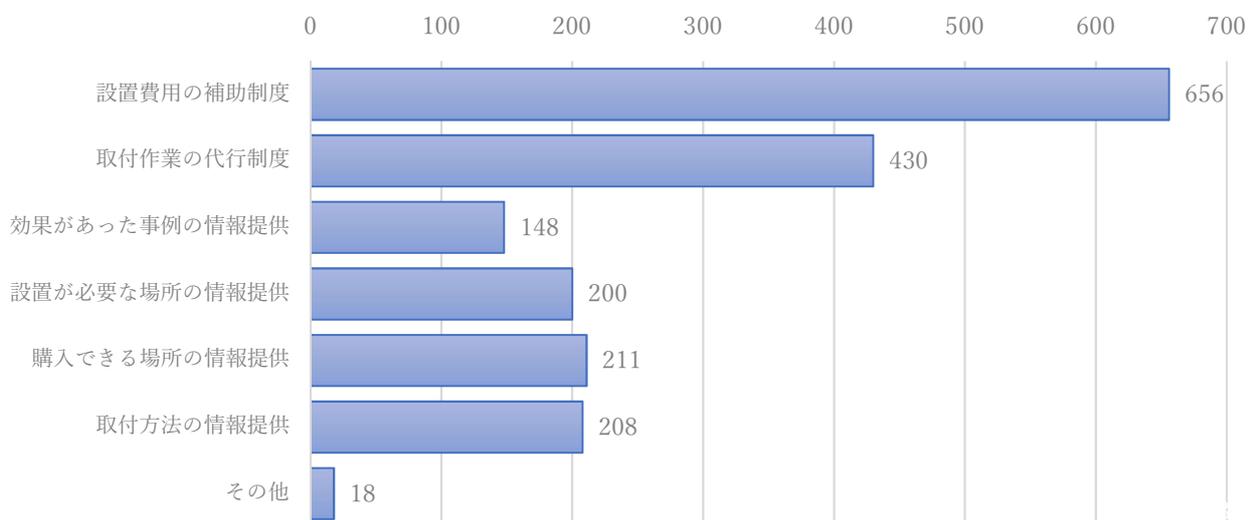
- ・ 住警器の取付作業を代行する制度があれば利用するかについては、「はい」が 53.9%で最も多く、次いで「わからない」が 27.8%であった。



n=770

問 34 住警器の設置率を向上させる取り組み（三つまで選択）

- ・ 住警器の設置率を向上させるためにはどのような取り組みが必要だと思うかについては、「設置費用の補助制度」が 656 と最も選ばれ、次いで「取付作業の代行制度」が 430 であった。

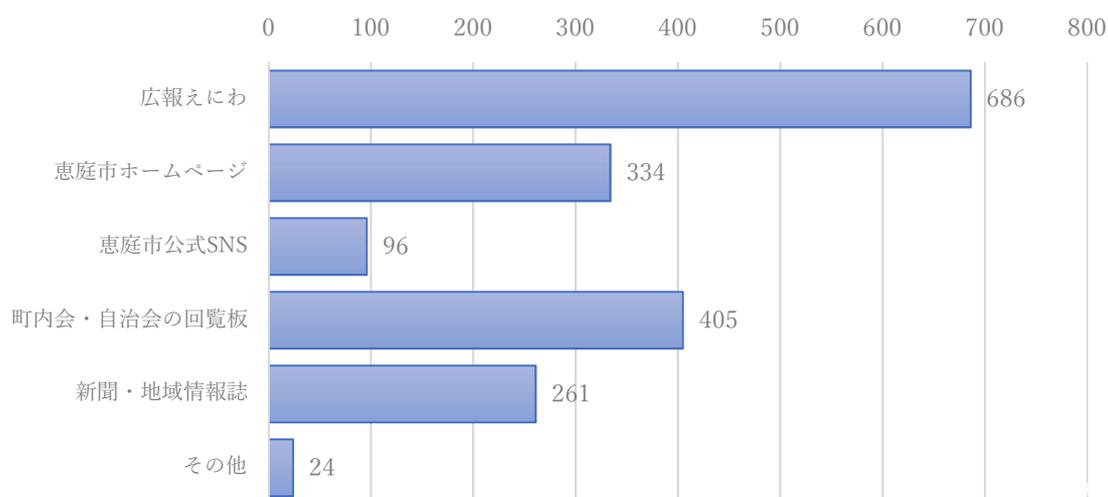


<その他の主な内容>

- ・「管理会社・大家さんに確認してほしい」、「個別巡回点検の実施」など。

問 35 住警器の効果的な情報提供方法（三つまで選択）

- ・ 住警器に関する情報提供について、どのような方法が効果的だと思うかについては、「広報えにわ」が 686 と最も多く、次いで「町内会・自治会の回覧板」が 405 であった。



<その他の主な内容>

- ・「フリーペーパー」、「チラシの配布」など。

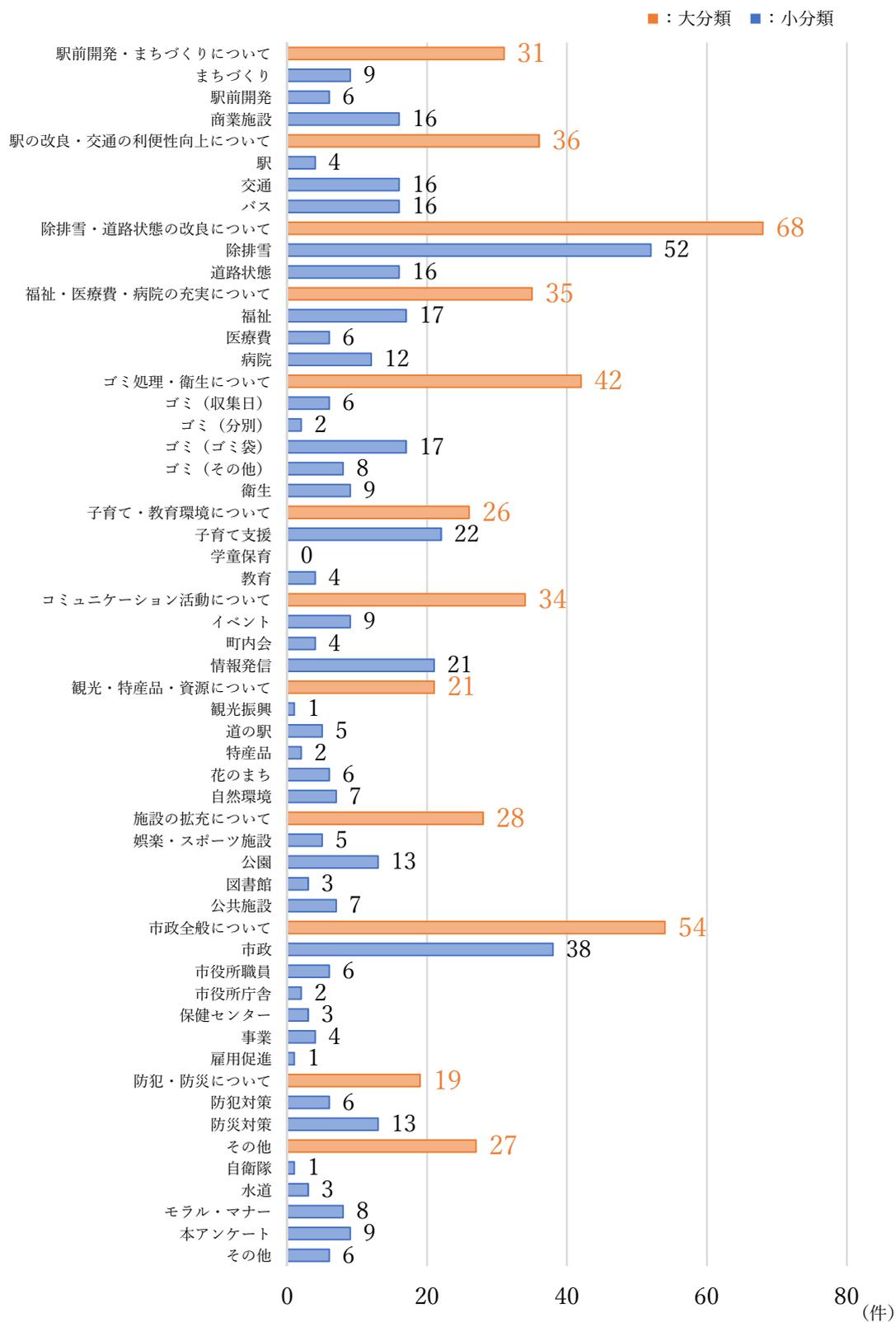
7) その他

問 36 市政全般への意見（自由回答）

- ・ 市政全般に関する自由意見については、421 件の回答が得られ、大分類で 12 分類、小分類で 44 分類して集計を行った（内容が多岐なものは複数回答として処理）。
- ・ 大分類では「その他」を除くと、「除排雪・道路状態の改良について」の意見が 68 件と一番多く、次いで「市政全般について」の意見が 54 件と多かった。
- ・ 大分類で一番多かった「除排雪・道路状態の改良について」の中では、小分類「除排雪」に関する意見が 30 件と多かった。
- ・ 大分類で二番目に多かった「市政全般について」の中では、小分類「市政」に関する意見が 37 件と多かった。

市政全般に関する意見の分類表

大分類		小分類		大分類		小分類	
1	駅前開発・まちづくりについて	1	まちづくり	8	観光・特産品・資源について	23	観光振興
		2	駅前開発			24	道の駅
		3	商業施設			25	特産品
2	駅の改良・交通の利便性向上について	4	駅			26	花のまち
		5	交通			27	自然環境
		6	バス	9	施設の拡充について	28	娯楽・スポーツ施設
3	除排雪・道路状態の改良について	7	除排雪			29	公園
		8	道路状態			30	図書館
4	福祉・医療費・病院の充実について	9	福祉			31	公共施設
		10	医療費	10	市政全般について	32	市政
		11	病院			33	市役所職員
5	ゴミ処理・衛生について	12	ゴミ（収集日）			34	市役所庁舎
		13	ゴミ（分別）			35	保健センター
		14	ゴミ（ゴミ袋）			36	事業
		15	ゴミ（その他）			37	雇用促進
6	子育て・教育環境について	16	衛生			11	防犯・防災について
		17	子育て支援	39	防災対策		
		18	学童保育	12	その他	40	自衛隊
19	教育	41	水道				
7	コミュニケーション活動について	20	イベント			42	モラル・マナー
		21	町内会			43	本アンケート
		22	情報発信			44	その他



市政全般に関する意見の分類結果